

今年の夏はこれまでにない暑さでしたが、最近では日中の屋外での活動もしやすくなりました。オンラインツアーや室戸ジオパークの紹介映像など、屋外で撮影をす機会が増えたのでありがたいです。

津波避難シェルターガイド養成講座を実施しました



8月22日(土)に、初めての「津波避難シェルターガイド」のための養成講座を、室戸市防災対策課の協力を得て、実施することができました。

目指すのは、ユネスコ世界ジオパークに認定されている室戸だからこそできる防災学習の機会を子どもたちに体験してもらえるツアーです。

自分が暮らしている土地の成り立ちという切り口から、地元の自然の恵みや魅力的な文化を楽しみ、一方で向き合

わなければならない自然災害を知ってもらえるような工夫をしました。日本で唯一の津波避難シェルターが、こんな近くにあるわたしたちはとてもラッキー。シェルターは約70名が避難可能な場所です。中には約23メートルにも及ぶ螺旋階段があり、外部(津波)の状況を確認するために崖上に続いています。津波シェルターは津波がおさまるまで、一時的に避難するための緊急避難場所です。代表者がらせん階段を登って外の様子を確認し(写真左下)、安全が確認できれば長時間の避難が可能な避難所に移動します。

高知新聞で取り上げられたこともあり、学校からの防災ツアーの問い合わせも増えてきています。この養成講座を受講した方は早速ガイドとして活躍するために、養成講座が終わってさらに何度か案内のための練習を重ねています。「この養成講座には参加できなかったけれど、内容に興味がある」という方がいらっしゃったら、裏面の連絡先までお問い合わせください。



高知工科大学の学生さんに初オンラインガイド

ジオパーク界隈では最近、オンラインガイドツアーがじわじわと浸透してきています。わたしたち室戸も加盟している日本ジオパークネットワーク (JGN) の公式ページでは、オンラインガイドツアーのための専用ページも立ち上がっています。これまで山口県の萩ジオパーク、鹿児島県の桜島・錦江湾ジオパーク、和歌山県の南紀熊野ジオパークが実際に有料のオンラインガイドツアーを実施してきました。室戸でも準備していきたく思っていた矢先、室戸で以前地理専門員として勤務していた^{ゆほらかずひろ} 柚洞一央さんからオンラインガイドの依頼がありました。毎年彼が教えている高知工科大学の学生を連れて、室戸にフィールドワークに来ていた柚洞さんですが、今年はコロナの影響で来られないとのこと。ぜひ室戸市観光ガイドの会にオンラインガイドをしてもらいたいと言ってもらいました。日頃からガイドさんはジオストーリーやその伝え方について勉強会で確認をしていたので、準備はバッチリ。職員の持っている機材をかき集めて配信の問題もなんとかクリア。さらにオンラインガイドを受けた学生が実際に室戸に行きたいと思う仕掛けとして、天草で作ったところてんとイタダリの炒め物を事前に郵送。当日工科大学の学生さんと一緒においしく食べました。



JGNのオンラインツアー
特設ページQRコード



佐喜浜ミニ八十八ヶ所ハイキング再開します

暑い夏が終わり、ハイキングの季節 (!?) になってきましたね。7月・8月・9月と休止していた佐喜浜ミニ八十八ヶ所ハイキングを下記の通り実施します。下山後は地産地消のお昼ご飯でおもてなしします。

日時：10月17日(土) 8:30~13:30 場所：旧佐喜浜保育所(室戸市佐喜浜町 3367・濱宮神社隣)

持ち物：飲み物、動きやすい服装(長袖・長ズボン) ※雨天中止

参加費：大人(中学生以上) 2,500円、小学生 2,000円

定員：6名(小学3年生以上・最小催行人数3名)

申し込み方法：室戸世界ジオパークセンターまでご連絡ください。

[TEL] 0887-23-1610 [Email] info@muroto-geo.jp



←佐喜浜ミニ八十八ヶ所ハイキング
の詳細はこちらから。



「室戸ジオパークだより」へのご意見・ご感想、ご質問などなど、どんどんお気軽に下記連絡先までお問い合わせください。「こんな情報あるよ!」「こんな情報を掲載して」ということも、お待ちしております。

【発行】室戸ジオパーク推進協議会(0887-22-5161)

Email: info@muroto-geo.jp

〒781-7101 高知県室戸市室戸岬町 1810-2 (担当: 海老川)

